

# 軽井沢で 出会った 人々 vol.02

（軽井沢新聞編集長）  
廣川小夜子

## 野の花を描きつづけた人

深沢紅子さん（画家）

（前号）  
1982（昭和57）年の夏、深沢紅子さんは堀辰雄が過ごした旧軽井沢の1412別荘で、野の花を描いていた。作家との交流も多かった深沢さんは川端康成と雲場池を回ったときの思い出を話してくれた。

「堀（辰雄）さんの詩集に何枚も手書きのカットを入れることになって、スケッチに軽井沢へ来ました。堀さんが都合悪くて来られないときに、代わりに川端さんが案内してくださったの。とても無口な方で、



（左）「アサマキスゲ」（水彩 1991）ポストカードや便箋など、今も人気の深沢紅子の絵。  
（右）「深沢紅子 野の花美術館」は塩沢の明治四十年館の中にある。

黙って歩いて行くんですね。ときどき立ち止まつては『ここは堀が好きだった』とボツンとおっしゃるの。すると、深沢さんがスケッチブックを広げて描き始める。「大きな木に鳥が群れていたのを見て『あれも堀が好きそうな木だな』とおっしゃったの」。寡黙な川端が歩く後ろを、深沢さんがスケッチブックを手に歩いて行く。雲場池を回るそんな二人の様子が目に浮かんだ。深沢さんと作家や詩人たちの交流は深く、「持前の才能が詩人たちとの付き合い

で深みを増した」と長男の龍一さんも認めている。

旧軽井沢の1412別荘は深沢さんの夏のアトリエとして使われていた。「昭和16年に堀さんがアメリカ人のスミスさんから買って大切にしていた別荘です。野村英夫さん（詩人）が『これが売りに出てるんです。

今、堀さんが買おうと思って努力してお金を集めているところなんですよ』と話していた。そしてついに堀さんが買って昭和19年までここで仕事をしていました」

追分に引っ越ししたあとも堀辰雄は山荘を売らず所有していた。彼は4年しか過ごしていないが、深沢さんは夏のアトリエとして借りて約20年の夏を過ごした。

家中に入ると、竹で編んだような珍しい扉が目についた。「それはアンペラ張りです。昔は壁から戸まで全部アンペラ張り

でしたが。ボロボロになってしまって今はこれだけ。何しろ、大正8年頃の家ですから」

「できるだけ直さずにこのままにしておきたい」という堀夫人の意向に合わせて大事に使っていたが、その後、売却の話が持ち上がり、深沢さんは山中湖で過ごすようになった。

長年過ごした野の花咲く軽井沢の庭は深沢さんの大切な場所だったことだろう。1412別荘は藤巻進さん（現町長）の尽力により、壊されることなく軽井沢高原文庫に移築保存された。堀辰雄の愛した山荘であるが、私には、深沢紅子さんの笑顔が浮かぶ『別荘訪問第1号』の思い出の場所である。

深沢紅子（1903～1993）  
盛岡市生まれ。22歳のときに「二科展」に入賞し、女性第1号としてマスコミに注目される。堀辰雄はじめ作家や詩人たちと交流を深め、昭和39年頃から軽井沢で夏を過ごす。「深沢紅子 野の花美術館」が盛岡市と軽井沢町塩沢にある。

## NEW OPEN !

### 公園の緑を愛でながら 気軽にフレンチを味わう

矢ヶ崎公園近くに、ソファー席もあるカジュアルフレンチのお店がオープンした。町内のホテルに勤めて



「ちょっと贅沢なランチセット」ポークグリル、本日のスープ、サラダ、パン、デザート盛り合わせ、ドリンク付きで2200円。

いたオーナーの、ひとつひとつ丁寧に手作りした料理を味わえる。ちょっと贅沢なランチセットは、鴨の骨付きもも肉のコンフィ、信州蓼科ポークのグリルなど4種類からメインを選べ、スープやスイーツの盛り合わせ付き。他にリーズナブルな1000円ランチもある。ディナーは予約制で、オードブル、スープ、メイン（魚or肉）、パン、デザート、ドリンクで4000円から。「希望に応じて対応いたします」とシェフの飯森さん。

### キッチン&カフェ パスティス

軽井沢町軽井沢東 32-17  
9:00～18:00（季節変動あり）  
TEL.0267-27-0908 火曜定休

A

## NEW OPEN !

### 暖かくて美味しい 薪ストーブ生活を体感

六本辻ラウンドアバウトから雲場池に向かってすぐ、赤いストーブが目印の薪ストーブショールーム。中



クリスマス仕様のショールーム。来年2月からは薪ストーブクリッキング教室も開催予定。

に入ると左はモダンなリビング、右はクラシックなダイニングをイメージした薪ストーブや家具が置かれ、暖かさ、熱の広がり方、使い勝手などを、住んでいるような空間で体感することができる。実際にドライフルーツや薪ストーブランチを実践しているスタッフの甲田さんは「薪ストーブの楽しみ方を聞きに、気軽に足を運んでください」。隣の元店舗は「火のある暮らしを楽しむ雑貨店」としてリニューアルしている。

### あさまストーブ

軽井沢町軽井沢 354-7 9:00～17:00  
日曜・祝日定休 TEL.0267-31-6613

B

肩こり・腰痛・むくみに  
～体のほぐし～  
高濃度酸素オイルコース  
全身 60分 6,000円～⇒5,000円（初回）

～顔のほぐし～  
小顔ほぐしコース 90分 8,000円  
体のほぐしに追加の場合 45分 4,000円

ダイエットコース  
貴方に合わせたダイエットメニューで提案。お気軽にご相談ください。

**ほぐし専門店**  
軽井沢町長倉4229（予約制）  
TEL.0120-575-081  
厚生大臣認可全国整体療法協同組合会員 日本鍼灸協会会員  
ほぐし専門店 検索 中軽井沢駅より車で5分

自然と調和する美しい家

SHINKENCHIKU 株式会社 新建築  
〒389-0104 軽井沢町軽井沢東 29-5 TEL.0267-42-7777 www.shinkenchiku.jp

**丸山珈琲の新春福袋**  
即日完売の人気福袋！お求めはお早めに！

各直営店舗とオンラインショップで販売

- 軽井沢本店 … 1月4日 10:00より
- ハルニレテラス店 … 元日 9:00より
- 小諸店 … 元日 9:00より

※店舗により取扱う価格帯や数量が異なります。詳しくは各店にお問い合わせください。

別荘の雰囲気を肌で感じる  
軽井沢本店  
〒389-0103 軽井沢町軽井沢1154-10  
TEL・FAX 0267-42-7655  
営 10:00～18:00 12/31のみ17:00  
火曜定休（8月無休）

買物の合間、帰りの車中で  
ハルニレテラス店  
〒389-0194 軽井沢町 星野ハルニレテラス内  
TEL・FAX 0267-31-0553  
営 9:00～19:00（夏期8:00～20:00）12/31通常通り  
無休

広い店内で、ゆったりと  
小諸店  
〒384-0029 小諸市大字平原1152-1  
TEL 0267-31-0075  
営 9:00～20:00 12/31のみ18:00  
無休

ご注文は **0267-26-5556** 受付時間9:00～18:00  
www.maruyamacoffee.com

SORELなしでは  
軽井沢の冬は  
越せません。

−40°C  
まで  
耐寒

**SATO SHOES STUDIO**  
TEL.0267-42-3322 旧軽井沢銀座 SASHI! international  
プリンス店 お台場店

「補聴器」の購入をお考えの皆様へ  
**認定補聴器専門店へご来店ください。**

軽井沢店が佐久地域で唯一\*の「認定補聴器専門店」に認定されました。（※平成28年3月現在）

**認定補聴器専門店とは？**

- 認定補聴器技能者が常勤している
- 聴力検査室などの設備が整っている
- 耳鼻咽喉科の補聴器相談医と連携している

公益財団法人テクノエイド協会が店舗の設備、技術者のレベル等を認定した販売店のみ認定マークが掲示されています。

**Vision Station** メガネのコミヤマ **Hearing Station** 軽井沢 0800-888-3341 0267-41-6373 http://www.eyeloveyou.jp

県内最大規模の広さ！品揃え！  
【JOA公認 SS級認定眼鏡士】【認定補聴器技能者】

認取メーカー  
**SIEMENS** **PHONAK** life is on  
Starkey Hearing It Our Concern

中軽井沢 6-5 駅徒歩3分  
10-19時 火曜定休

八十二銀行 中軽井沢西 中軽井沢駅  
MAP